

議会だより

下郷

SHIMOGO

下郷町

議会だより

2024年8月

令和6年度6月会議

6月会議提出議案 …… 2

議案審議「町バス購入プロセスは」… 3～4

一般質問… 5～10

「5人の議員が町政への質問」

議会トピックス(新人議員インタビュー)… 11～13

町民の声 …… 14～15

議会だよりギャラリー …… 16

目次

人間を救うのは人間だ。

下郷町赤十字婦人部ボランティア活動

「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。

第108号



6月会議提出議案

報告第9号	令和5年度下郷町一般会計の繰越明許費について
議案第1号	監査委員の選任について
議案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第4号	下郷町有バス購入契約について
議案第5号	令和6年度下郷町一般会計補正予算（第1号）
議案第6号	令和6年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第7号	令和6年度下郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議員提出議案第1号	国の「被災児童生徒就労支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就労支援を求める意見書の提出について 被災児童生徒の十分な就労支援を求める意見書の提出について

新任

小山 敬二氏

住所：下郷町大字塩生字大石

849番地1

再任

星 達生氏

住所：下郷町大字豊成字林中

6061番地1



固定資産評価審査委員の選任

	評決
渡部 哲	○
佐藤 勤	○
湯田 純朗	×
猪股 謙喜	×
小玉 智和	×
大竹 浩治	○
星 和志	×
星 邦一	×
山名田久美子	×
星 能哲	○

●賛成少数のため否決



監査委員の選任

星 昌彦氏

住所：下郷町大字豊成字檜原

2322番地



請願・陳情

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書

陳情者 下郷町大字弥五島

字中原765番地3

中島 史弥氏

他1名

審査結果

採択

意見書提出の議決

復興大臣、文部科学大臣などへの意見書提出を議決した。



一般会計補正予算13,456千円を追加補正 補正予算の主な内容

歳入

雪寒機械整備事業にかかる地方債の補正	増16,300,000円
南会津地方広域市町村圏組合における指令システム	減6,900,000円
機能維持更新事業にかかる地方債の補正	増5,200,000円

歳出

地方創生総合支援事業（県サポート事業）に要する経費	5,178,000円
児童手当制度の拡充に要する経費	10,420,000円
出産時交通等支援事業に要する経費	179,000円
外国語指導助手派遣事業に要する経費	3,300,000円
定期人事異動に伴う人件費の補正	

6月会議議案審議



下郷町有バス購入契約について

9,710,470円

Q

入札参加者5社ということであるが、入札に参加した業者名を教えてください。

A

町内3社（星工自動車商会、大和自動車工業、落札の小暮車体）と会津管内2社（三菱ふそうトラックバス東北会津支店、会津自動車工業）の計5社が入札に参加した。

Q

5社を選定したのは副町長が会長とする参加業者の選定組織だと思うが、この3社以外にこういった26人クラスの車種を扱う業者はなかったのかどうか。それから、どうしても最低5社を競争入札させる必要があったのか。

A

29人乗りバスの入札参加願いが出たのはこの3社のみ。5社以上の競争入札は原則としている。

主な焦点は、バス購入の仕様と入札プロセスでした。児童手当制度の改正による影響と対応、外国語指導助手の委託、各種システム改修経費の計上などが主な補正内容でした。

次のページに
続く



 下郷町有バス購入契約について

Q 初めから三菱ふそうのローザという車種を決めて、入札したということか。

A 三菱ローザはあくまで参考車種として示したもので、それに限定したわけではない。

Q その車種以外にあったのか。今回4WDじゃなく2WDだがこの雪国の冬場で大丈夫なのか。当初予算が109万8千500円と2WDどちらで想定していたのか。

A 29人乗りに近い車種を絞り込んで仕様書に記載した。4WDではなく2WDだが、近隣で2WDバスが運用されていることを確認した。当初は4WD

と2WDの両方を検討していたが、2WDの方が小回りがきくため2WDで予算計上した。

Q 車検修理は落札業者に発注するのか。

A 購入業者と車検業者は別々に選定する考えである。

補正予算案の質疑

 地域創生総合支援事業

Q 地域創生総合支援事業の「ここに住んでみたいまち作り事業」の内容は？

A 町民や移住希望者を対象に、農業体験や自然観察会などの体験ツアーを実施する予定。

 出産時交通費等支援事業

Q 出産時交通費等支援事業の内容と算定根拠は？

A 遠方の分娩施設で出産する妊婦に対し、交通費と宿泊費を助成。自家用車の場合は旅費規定に基づき算定。

 土木積算システム

Q 土木積算システムの保守料の内容は？

A 水道関係のシステムを新たに追加するための初期導入費用。

 外国語指導助手派遣業務

Q 外国語指導助手派遣業務の内容と効果、委託先は？

A 次年度から各町村でALTの契約をするようにということで民間業者に委託し、指導助手を確保。欠員時の代替要員の手配も可能。委託料330万円。

 児童クラブ学習サポート事業

Q 児童クラブ学習サポート事業の内容と補助先は？

A 長期休暇中に元教員が児童クラブ利用児童の学習支援を行う。補助先は学習サポート研究会。

 児童手当

Q 児童手当の月額額の計算方法と高校生年代の範囲は？

A 第1子と第2子は1万円、第3子以降は3万円。高校生年代は中学卒業後から18歳到達後の最初の年度末まで。



一般質問

6月定例会では、5人の議員が10件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。6ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

山名田 久美子

- 大川ふるさと公園の使用基準の整備は
- 消滅可能性町村に



P 6

星 和志

- 総合計画の検証結果と公表
- 新しい働き方へ



P 7

猪股 謙喜

- 塩生造成予定地の早期建設
- 単身者住居の予定は



P 8

渡部 哲

- シルバー人材センターの必要性について
- 都市計画の導入について



P 9

星 邦一

- 本町でネギの特産化を
- 肥料高騰への支援は



P10



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。

【訂正とお詫び】について

第107号

表紙：目次部分 **(誤)令和6年第1回定例会【3月】** を **(正)令和5年度3月会議** へ訂正
8ページ：下郷町議会議員定数条例の一部を改正する条例の設定について

- ・反対討論者の氏名…**(誤)佐藤盛男** を **(正)佐藤盛雄** へ訂正
- ・反対討論者の追加…**星輝夫** この案件に対しては、私は反対します。なぜかという、3年前にアンケート記入していれば今回の選挙、議員定数に間に合ったのです。それが、自分はアンケートも出さない、委員長には怒る、あんな態度では誰もよく思っていない。そこで、今回4月1日以降なので、新しい議員の中で改革するという、そういった議員もいると思うのです。ですから、私は遅くないと思います。私は反対いたします。



山名田 久美子 議員

kumiko yamanada

質問 大川ふるさと公園の使用基準の整備は

答弁 公園全体を網羅した新たな管理規則の整備を行う

問

12月一般質問の答弁で、大川ふるさと公園は「イベント利用の手引き」「公園行為許可基準」等の整備が必要で、他町村の基準等を調査し3月頃までに整備したいと答弁された。その後整備されたのか伺う。

答

近隣の市町村の状況を参考に作業を進めてきたが、行為の制限や禁止条項の追加など「下郷町公園条例」の整備が必要である。現行は「下郷町コミュニティセンター管理規則」であるため、公園全体を網羅した新たな「管理規則」の整備を行う必要があるため時間を要している。

問

どこの市町村を参考に、誰が検討を進めてきたのか。

答

南会津町や只見町を参考に、社会教育係3名で進めてきた。

問

質問から6ヶ月経過していることは、行政サービスの低下ではないか。

答

いずれにしても大川ふるさと公園の多様な利活用を図り、地域の活性化につながるよう努めていく。



質問 消滅可能性町村に

答弁 過剰に反応することなく 支援策の充実を図る

問

民間組織「人口戦略会議」が将来的に「消滅の可能性がある」と見なした市町村に当下郷町が該当した。

この結果を率直にどのように捉えたか町長に伺う。また、会津17市町村で該当しなかった町村が4町村あったが、下郷町との違いなど検証されたか伺う。

答

「子育て支援策」「定住対策」は町の重要課題と認識し、第6次下郷町総合計画でも主要施策と位置付け、きめ細やかな各種施策に取り組んでいる。

人口減少の中、積極的に本町への移住者を受け入れる環境整備を進めている。地域とつながりを持った「安心できる子育て環境」という面では、わが町ならではの強みであると考えている。今回の発表は残念ではあるが、過剰に反応することなく冷静に受け止

め、地に足の着いた支援策の充実化を図っていく。該当しなかった他町村については調査していない。

問

昭和村は、からむし織姫制度やかすみ草新規就農者支援、湯川村は、若者定住住宅の充実、磐梯町は、企業の誘致や町営住宅等の充実などがある。

南会津郡内には産婦人科や助産院が無く、出産となると会津若松市へ行かなければならないので大変であるとの声も聞かれる。

ただ物理的な事ばかりでなく、下郷町を愛する人々を増やし、他の町村にない施策はなにか、若者の考えを聞くことが重要である。そのためにも、「若者会議」の開催を提案する。

答

今後予定しているのをご理解いただきたい。



星 和志 議員

kazushi hoshi

質問 総合計画の効果検証について、 検証結果と改善点の公表は

答弁 公表のタイミングは未定

問 第6次総合計画の効果検証について、検証結果と改善点の公表はいつどのような形で町民に公表されるのでしょうか？

答 6次総合計画の検証結果と改善点については、新しい第7次総合計画が策定された際に、ホームページでの公表や概要版の全戸配布、審議会での過程を経て公表する予定です。

問 住民アンケートの選定方法はどのようになされたのか？

答 住民基本台帳から無作為に1200名を抽出し、回収率は50・17%の603名からの回答がありました。

問 学識経験者に経営関係者を入れたらどうか？

答 学識経験者と概要版の公表は同時になるのか？

答 経営関係者の学識経験者については検討します。公表のタイミングは未定です。

問 推進本部のメンバーはどのようなものになっているのか？学識経験者はどのように選ばれるのか？

問 最上位の審議委員会は町議会議員6名と各種組織の長で構成されます。その下に推進本部会議（役場の管理職）、策定委員会（担当係員）があり、一般公募や組織からの推薦者でワークショップを開催する予定です。学識経験者は前回第6次で協力いただいた教育委員会や社会福祉協議会の方を想定していますが、未定です。

問 ワークセッションとは「場所を変えて豊かに暮らし働く手段」

答 新しい働き方（リモートワーク、ワークセッション）への対応について、下郷町の展望はどうか？

答 リモートワークの動向を注視し、検討していく考えです。ワークセッションについては良い環境があり、可能性はあると考えています。

問 ワークセッションを推進するための具体的な代替案はあるか？

答 クライナガルテンにワークセッション利用者がいる実例があります。国や県の補助制度を活用しながら、空き家や施設を活用する方向で検討していきます。関東圏への情報発信も重要です。

質問 新しい働き方への展望は？

答弁 空き家や施設を活用する 方向で検討

休暇活用型 （観光型） 休暇で観光を楽しみつつ 普段の仕事も行う	拠点移動型 （通勤型） 生活圏と働く拠点を移す。 分散させる	会議型 普段の職場と異なる場所で 集中討論、プロジェクトの立案	研修型 普段の職場と異なる場所で 集中的に研修を行う。教育の場
Vacation	Location	Communication	Education
新価値創造型 企業間の交流を通じて 新たなビジネスを生み出す	地域課題解決型 地域貢献 地域の課題解決を目指す 事業創出を目指す	ウェルビーイング型 （福利厚生型） 保養所、健康増進 リカレント等の社員の 勤務づけのメニュー	Japan Workcation
Innovation	Solution	Motivation	

この7つのタイプのワークセッションは2つ以上を組み合わせることも多く
それぞれの実施者における現状のワーク&ライフスタイルによって変化します

ワークセッションのタイプ



猪股 謙喜 議員

kenki inomata

質問 塩生地区宅地造成予定地の
早期建設を望む

答弁 状況を見極めながら
具体的な方向性・時期を検討

問 塩生地区宅地造成予定地の早期建設を望む。

答 平成25年度に用地を取得し、測量・地質調査した結果、含水比の高い粘土性であり、隣接する県道高

隲田島線から1m以上低地となっており、排水処理や盛土造成を行い同県道と同じ高さにして、土地の有効利用を図る事とした。

問 現状では土盛りをして県道と同じ高さになつており、住宅建設に取り掛かっても良いのではないか。

答 令和2年度に表土搬出・暗排水管の設置をし、令和3年度から和4年度にかけて、県事業で出た土砂を使い盛土工事を行った。現在、積雪の重さも使い自然転

圧によって地盤の安定化を図っている。養生には3年程を見ている。

今後の進捗としては、国の交付金事業などの状況を見極めながら、具体的な方向性・時期を検討していく。



質問 住宅不足が町民の移転に
繋がっている

答弁 空き家バンク制度をより深めたい

問 他町村に移り住む町民がいる。これは町内に

一戸建て住宅・賃貸アパートが不足しているからだとおもう。単身者も住める住居についてどう考えるか。

答 下郷町町営住宅管理条例では、特例を除き

単身入居はできない。空き家バンク制度が活用されている。この制度をより広めたい。

問 民間企業の戸建て住宅・アパート建設に、

補助制度をしてはどうか。考えていない。

無住となった母屋を取り壊して更地となっているのを見かける。このような土地を活用してはどうか。

問 ご提案ありがとうございます。

答



渡部 哲 議員

tetsu watanabe

質問 シルバー人材センターの必要性について

答弁 現在の財政においては設置が厳しい



問

現在、60歳を超えて仕事がなく困っている高齢者が増えている状況であり、他の市町村にはシルバー人材センターがあるのに我が町にはない。高齢者の知恵と経験を利用すれば町の活性化につながると思われる。町の考えを伺う。

答

設置するには町が設立し、県に申請しなければならず、運営をするのに事務員等が必要であり、町の緊縮財政のなかで設置に関わる人件費等を鑑みると大変厳しい状況である。町としては観光公社で除草を、除雪は福祉課で高齢者除雪の対応を行って対応しておりご理解いただきたい。

問

昨今の経済の低迷が我々の生活に如実に物語っていると思う。町は活力がなくなつて、元気が感じられない。何か一つの手段として、シルバー人材センターの導入について検討してもらえば、町の活性化と高齢者の健康で生きがいのある生活を営むことができると思ひ提案した。

答

人件費や経常経費など数百万円の新たな予算、財源が必要となり、少子高齢化が進む中も各地区の老人クラブ数は減少する傾向にあり、現状では人材の確保も難しいものと考えられる。しかしながら、町として高齢者の方に生きがいの場や就労の場を提供するという観点からは、有効な施策と考え、今後も需要と供給のバランス等を考慮しながら、慎重に検討して参りたい。

質問 都市計画の導入について

答弁 人口密集地において人口 三千人以上の基準がある

問

効率的な町発展を願うならば、住居地域、商業地域に用途別に線引するのが当然だと思うが、町の方針を伺いたい。

答

市では都市計画を取り入れ、町作りを行っているところがあるが、町村では都市計画を取り入れているところは無い状況である。基準があり人口密集地に置いて、三千人以上の人口が必要であり町においては該当しないのが現状である。

問

今のままでは、耕作放棄地が増えて役場庁舎周りは、バランスのとれない景観になってくると思いますが、もっと整然とした町作り、効率的な町の発展に繋がるのではないかと思ひ提案したいです。

答

今後、高規格道路が完成すれば、厳しい農業振興地域の縛りから外してもうのように、県のほうに願います。また、都市計画区域は、都道府県が都市計画法に基づいて指定するもので、下郷町単独では、困難な状況で、用途地域と指定することは、現在のところ難しい。



星 邦一 議員
kunikazu hoshi

質問 本町でネギの特産化を

答弁 奨励品として取り組んで
いかなければならない

問

町内には多数の蕎麦屋があり町内農家からの仕入れでは間に合わず、町外から仕入れていた現状です。このような現状から町としてネギの生産を奨励し、特産化していくことを提案するが、町長の考えは。

答

ネギの生産奨励については、農業再生協議会における水田収益力強化ビジョンで地域の振興作物として位置づけ、支援を実施しています。また、大松川農事組合法人ファームがネギを大規模に生産する計画もあり、これにより他地区への波及効果も考えられます。蕎麦を奨励している本町にとって、ネギの需要は高いものとして理解しているため、今後も生産奨励に取り組む所存です。

問

ネギを奨励ではなく、特産品に位置づける考えはないか。

答

農業再生協議会の役員会で議論して、生産者が増え需要が高まれば特産品として扱って農業の支援補助金についても検討していく。

問

観光公社が農家を回り集め、蕎麦屋は観光公社から仕入れるようにし、その費用を町が支援していくことはできないか。

答

需要と供給のバランスを取るようにし、再生協議会や農業振興施策の中で検討して奨励品としていく取り組みでなければならない。



質問 肥料高騰への支援は

答弁 農業再生協議会の役員会で
議論していく

問

肥料高騰が農家に大きな打撃を与えており、今もなお続く価格の高騰で各農家は悲鳴をあげているため、農家への更なる支援が必要と考えるが。

答

国や県の直接支援策はまだ出ていませんが、会津総合開発協議会を通じて国に働きかけています。本町では有機肥料購入支援を実施しており、この事業を活用して農家の負担軽減に繋がっている。引き続き国や県に要望を行う。

問

会津総合開発協議会への要望内容を詳しく聞かせてほしい。

答

農業振興に関する11項目について、県と国に要望しています。内容は後日資料を配布します。

問

さらなる国・県への強い要望を求めます。なお本町は、小規模農家が大多数であり大規模農家による大規模栽培を奨励する国の考えとは合致しないため、町独自の対策や支援も必要と感じるが。

答

今後とも農業支援には力を入れていかなければならない。肥料高騰に伴う農家への支援は必要だと思ふ。農業再生協議会の役員会で議論していきます。

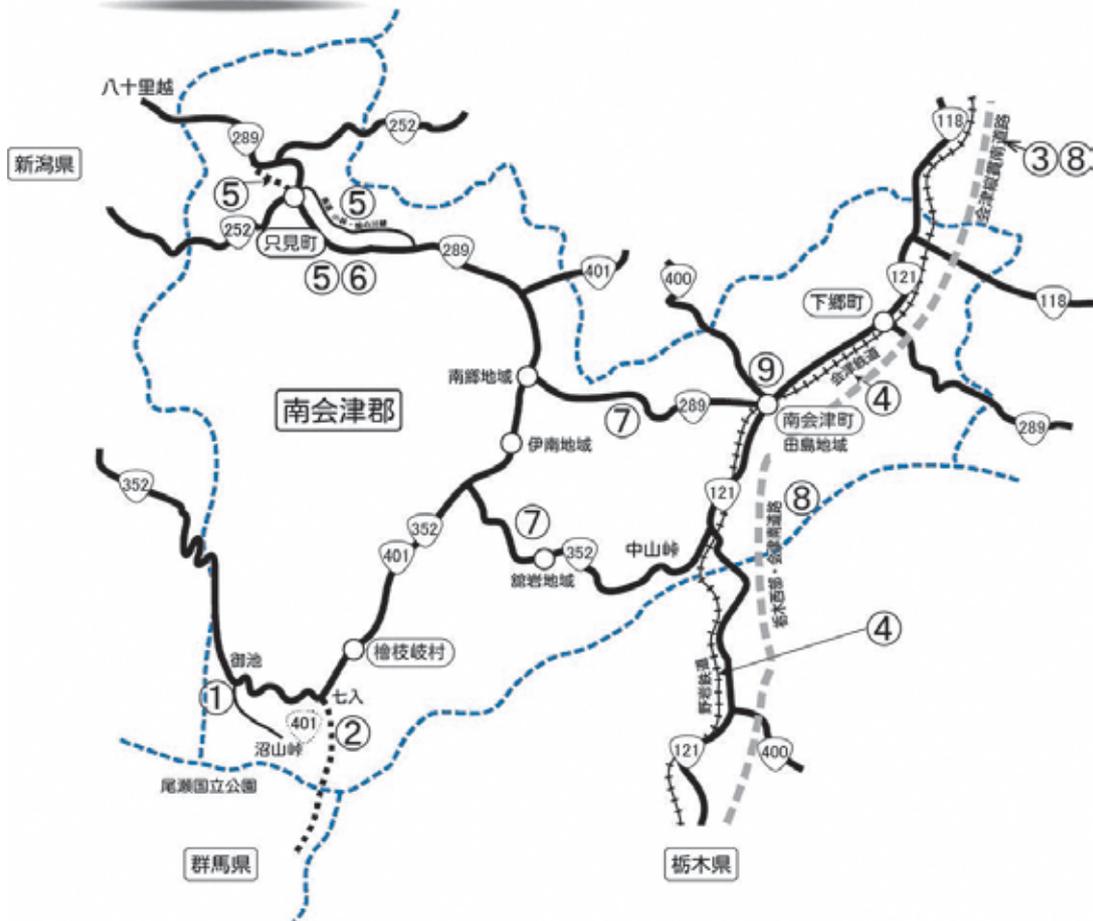


6/7 南会津地方議会議員大会 松枝岐村東雲館にて提案発表



星昌彦議員が3号では交通の安全確保、医療の解消、地域産業の活性化を図るために路線の整備促進を、4号では第三セクター-鉄道の交付税措置の優遇・財政支援措置・補助金補助率の引き上げ・生活バス路線維持のための財政措置を要望した。

要望箇所位置図



①裏燧林道並びに燧ヶ岳登山道の整備の充実について
②一般国道401号の改良整備事業の促進について
③地域高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進について
④第三セクター-会津鉄道・野岩鉄道並びに生活バス路線への支援措置について
⑤一般国道289号「八十里越」区間の開通に向けた周辺道路の整備促進について
⑥へき地診療所の常勤医師の確保について
⑦一般国道289号（駒止峠）無散水融雪施設設置と一般国道352号（穴原～耻風間）の改良促進について
⑧「栃木西部・会津南道路」と「会津縦貫南道路」の一体的な整備促進について
⑨中山間地域における医療の充実と県立南会津病院の常勤医師確保について
⑩高齢者福祉に係る支援について



星 邦一 議員

初当選から3ヶ月が過ぎました。町議会議員としての自覚と責任の重さを感じております。

以前は、「下郷町」の全体を見て、考えるという事は、少なかったです。議員として町のために働こうと考え立候補し改めて「下郷町」を見直し、町民の皆様の声を伺う機会も増えました。皆様方からの要望等を町政に生かすべく、どのような施策が必要なのか一つ一つ学んで参ります。私はあくまで町民の皆様のご代表である事を忘れずに、目線をいつも同じにして、進んで参ります。私一人でやれる事は限られます。

皆様方からの意見・アドバイスを頂きながら、町民の皆様が誇れる「下郷町」・笑顔あふれる「下郷町」を目指し、謙虚な姿勢と町民目線で物事を考え、驕ることなく議員としての職責を果たしていきたいと考えております。まだ一若輩者ではありますが、これからの四年間精一杯頑張っていきます。

7/2 県議会広報研修会

「議会の見える化&
住民との信頼関係」
議会広報サポーター 芳野政明 氏



広報委員が福島市とうほうみんなの文化センターで研修をしてきました。

- ・ 誰のための、何のための議会広報？
- ・ 住民と議会との関係性を築く
- ・ 情報共有から参加・協働へ。広報の役割から編集までを学んできました。

新人議員インタビュー

各3人の新人議員の議員になり思うことを聞いてみましょう

渡部 哲 議員

気持ちも潑刺とし町会議員になってみて感じたことは、町の人口が5千人を割り元気がなくなっていると感じられ、人々の心に余裕がなくなっていると思われれます。

町のあちこちには高齢者が目立ちはじめ、若い人の数が少ないようです。

元気がある大内宿だけが目立って、町全体を引っ張るように感じられます。

我が下郷町は、昔から農業や林業が盛んな町でしたが、時代の流れと共に産業の構造が変わり、各町民が、どこかの組織の中に組みして働くような図式に変わって来ています。

高齢者は、国の制度の年金を頼りに生活するスタイルに変わりました。社会保障制度が充実したため、昔と違って大変お金がかかる時代となり、後ろから背中を押されるように働いていると感じられます。

今後この町に住んでよかったなあと思われるような濃密な町づくりが理想で、実現したいと思います。まだまだ未熟者の私ですが、皆さんの力強い後押しがあれば満足のいく町づくりが出来るようになると思います。

大竹 浩治 議員

◆議員になる動機

住民の代表である議員になるためには住民・有権者による選挙で当選しなければならず当選することではじめて議員として正当性を付与されるわけであるが、議員は住民代表としての責任が生じることから、その責務は決して軽いものではなく、また当選しなければ、経済的なことを含めて大きなリスクを引き受けなければならないことになる。したがって、議員になろう、というのは、一個人としては相当に重い決断が必要でした。しかし、それでも議員になりたいということは、強い「思い」があつてのことでありました。「人に勧められた」という「他力的動機」ではなく、生まれ育ったふるさとを少しでも良くできればという強い思いである「自律的動機」からの意識によってあり、今後、様々な課題解決に一つずつ着実に取り組む責務を感じております。

◆取り組みたい政策

- ①町の基幹産業である農性化
- ②教育・文化の振興
- ③保険・医療・福祉の充実
- ④防災対策の強化
- ⑤商工観光の振興
- ⑥道路等社会資本の整備
- ⑦全議員による議会改革推進会議等の設置（議員定数の見直し）

町民の声



町への疑問・要望・希望などを聞き次号で行政・議会の視点で回答していくコーナーです。



落合
60代男性

河川の工事だが工事をするにより生態系は崩れないのか魚や釣り人（観光者も含む）への配慮が無いようだがどのように考えているか。下郷町は自然環境観光資源でもあるので観光や町民の娯楽・環境面を考えて欲しい。加藤谷川や大川で川底を平にし砂防を設け、川幅も広げているようだが目的は川の氾濫防止と考えるが今まで氾濫が起こった事はあるのか。

県では平成21年に、加藤谷川を含む流域全体として、阿賀川上流圏域河川整備計画を策定し、河川環境の整備を進めております。この計画は、これまでの災害を踏まえ策定したもので、平成27年関東・東北豪雨洪水で浸水被害があり、平成30年に一部計画を見直しました。引き続き、生態系の調査も行いながら、自然環境を保全するとともに、利用者へ配慮した河川環境となるよう河川改修や維持管理に取り組みます。



県建設課



星和志 議員

近年では加藤谷川を含む周辺河川は川幅も広く災害は少なかったように思えるが、これからは経済や観光も含め横の繋がりを含め資源の開発を考えていかなければ持続可能な町づくりは難しくなっていくと考える。



音金
30代男性

コミュニティセンターではバレーやフットサルや球技ができるのでバスケットリングもつけて欲しい。つけることにより町民体育館・下郷中学校・コミュニティセンターを使用し大きな球技イベントや大会誘致が可能になる。ついでに下郷町のPRにもつながる。
芝生ではフットサルの練習をしているが夜になるとできなくなってしまうのでナイター設備があれば夜も練習ができる。
ナイター設備は今後イベント等にも使えるので汎用性は高いと思う。



教育委員会

コミュニティセンターは当初（平成7年完成）は、国体空手道の協議会場として建設され現在は、その他室内競技ではバレー、バドミントン、卓球等で使用しているがバスケットの競技となると大規模な改修や多額の予算が必要となることから財政的な面から非常に厳しいと思われます。



星和志 議員

体育館としては下郷町では一番大きくバスケットも然りスポーツ以外でも様々な使い方ができれば町民や町外の方にも使われ更に良い場所となるが、教育委員会でも移動式バスケットゴールを調べた結果非常に金額が高く予算的に難しいので、団体等を作り大会を招致するなど町民で企画を立て少しずつ規模が大きくなれば町も動いてくれるかもしれないので若い力で町を創ってほしい。

議会だより ギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

世代間交流パークゴルフ



クリーンアップ作戦（刈林地区）



編集後記

4月から新しい町議会がスタートし、広報委員も新たなメンバーになり議会だよりを発行することになりました。

議会広報が町民の皆様と議会を結ぶパイプ役であることを自覚し、一層わかりやすく身近に感じてもらいたい。ただき充実した紙面づくり編集に努めて参りますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

（大竹 浩治）

議会広報常任委員会

委員長	星	和	志
副委員長	大	竹	浩
委員	猪	股	謙
委員	湯	田	純
委員	星	部	昌
委員	渡		哲